

# 計器進入方式の概要(民間航空機が使用するもの)

計器進入方式は、ICAO ANNEX 6において精密進入、垂直方向ガイダンス付き進入及び非精密進入に区別される。

**精密進入** 水平方向及び垂直方向のガイダンスを持つ計器進入方式。

※空港数は民間航空機  
乗り入れ空港等に限る。

**ILS進入方式** 地上のILS機器からの精密な電波を利用し、当該電波に沿って飛行する進入方式。

53空港  
2空港

**PAR進入方式** 精測進入レーダーを利用し、航空管制官の指示に従って飛行する進入方式。

**垂直方向ガイダンス付き進入(APV)** 水平方向及び垂直方向のガイダンスを持つ、精密進入以外のRNAV進入方式。

RNAV進入方式  
(広義)

**RNAV進入方式(狭義)**

航法衛星システムを航空機の測位及び位置情報更新手段として使用する航空機のために設定された、航法精度(※)が指定されない進入方式。

18空港

**RNP進入方式**

RNAV進入方式のうち、航法精度が指定される進入方式。

30空港

**RNP-AR進入方式**

RNP進入方式のうち、固定半径旋回の適用や航法精度の調整が可能となる、より高度な進入方式。

36空港

**非精密進入** 水平方向ガイダンスのみの計器進入方式

**LOC(LDA)進入方式**

水平方向の位置情報としてLOCを使用する方式。  
(このうち滑走路とは異なる位置にあるLOCを使用し、滑走路が視認できる位置まで進入後、滑走路へ進入するものがLDA進入方式であり、羽田のみに導入)

15空港

**VOR進入方式**

水平方向の位置情報としてVORを使用する方式。

78空港

**RNAV進入方式(LNAV ONLY)**

RNAV進入方式(広義)のうち、垂直方向ガイダンスを持たない方式。

8空港

※航法精度とは、航空機が経路に沿って飛行する際の航法の正確性を数値で示したもの。例えば、航法精度±5NMとは、全飛行時間の95%において経路中心線から5NM以内で飛行することをいう。(右図)

